

通番	登録 番号	氏名	性別	職業	実務歴	対応 外国語	経験・資格等
1	18094	水野 多栄子	女	弁護士	42年	英語 韓国語（日常会話程度）	米国ニューヨーク州弁護士登録 東京家庭裁判所調停委員 法務省新司法試験考査委員 国際関係法（私法系）（平成19年11月～平成21年10月） ドイツMiKK主催のクロスボーダー ファミリー メディエーション トレーニング、イギリスCEDR主催のメディエーション トレーニング、その他多数のメディエーション トレーニングに参加
2	20225	矢吹 公敏	男	弁護士／大学教授	38年	英語	米国ロースクール留学 米国コロンビア大学法学修士（LL.M.） 米国ニューヨーク州弁護士 一橋大学大学院教授・講師 元日本仲裁人協会事務局長
3	20233	羽賀 千栄子	女	弁護士	38年	英語	東京弁護士会あっせん人・仲裁人（2007年～） 取り扱い業務：医療過誤事件（患者側代理人）、介護事件、ペットの事故、交通事故、貸金、不動産、離婚手続、子どもの問題（ハーグ条約関連事件など）、遺言、相続、成年後見人、労働事件（労働者側）、会社再生、会社倒産、建築紛争、少年犯罪事件など 他の国家資格：全国通訳案内士（英語）
4	20611	今里 恵子	女	弁護士	37年	英語 フランス語（日常会話程度）	ジョージ・ワシントン大学ロースクール留学・卒業(LL.M.) 米国ニューヨーク州弁護士 東京簡易裁判所調停委員 ドイツの国際的な監護に関する紛争の調停協会（MiKK）委員 シンガポール国際調停センター特別調停員 国際専門職協働学会会員 国際家族法法曹学会（IAFL）フェロー ハーグ条約事件経験多数（米国、カナダ、オーストラリア、イギリス、フランス、オランダ、ハンガリー、シンガポール、ペルー、ブラジル等）
5	26636	鈴木 雅子	女	弁護士	26年	英語 （英語で執務）	米国バージニア大学ロースクール留学、卒業 渉外家事案件を含む家事案件および依頼者が日本語を使えない事案の取り扱い多数あり ハーグ条約案件を含む子の監護に関する国内家事事件及び国際家事事件における代理人としての経験多数
6	27331	難波 満	男	弁護士	25年	英語	ロンドン大学経済政治学院法学修士（人権法）、シンガポール大学客員研究員 国際家事事件を含む多数の渉外事件に代理人として関与

通番	登録 番号	氏名	性別	職業	実務歴	対応 外国語	経験・資格等
7	28830	土屋 智恵子	女	弁護士	23年	英語	・ニューヨーク大学ロースクール法学修士（LL.M.） ・日本法・ニューヨーク州法弁護士 ・東京家庭裁判所調停官（2016年-2020年）、同裁判所調停委員（2024年-）。子どもの監護、面会交流を含む多数の渉外・国内家事事件を担当。 ・東京弁護士会あっせん人（2010年-2020年、2024年-） ・CEDR認定調停人 ・シンガポール国際調停センター特別調停人 ・京都国際調停センター調停人 ・国際機関、海外法律事務所、金融機関等の国外での執務経験あり（米国1年、オーストリア3年、タイ2年）
8	28932	野原 卓夫	男	弁護士	23年	英語	東京弁護士会あっせん人・仲裁人(2012年～)
9	29291	小瀬 保郎	男	弁護士	61年	英語	司法研修所8期、1956年4月裁判官に任官。退官後、公証人、弁護士。いずれの職務経験でも渉外家事事件を経験。 ほかに、国際私法学会、日米法学会等に在籍（今は退会）。 また、ジュリスト渉外判例研究執筆、日本評論社「遺言と遺留分」第1巻第3版で執筆した「公正証書遺言の実態と問題点」で遺言に関する国籍や準拠法、欧米におけるデジタル遺品の取り扱い等に言及。
10	29897	芝池 俊輝	男	弁護士	22年	英語	・英国エセックス大学大学院（LLM）修了 ・武蔵野大学大学院人間社会研究科人間学専攻臨床心理コース修士課程修了 ・国際的な家族に関する紛争（国際離婚、国境を超える子の監護・面会交流）の取り扱い経験多数 ・ハーグ条約事件対応件数 40件以上（約20か国） ・臨床心理士としてはトラウマ・PTSD治療が専門
11	32861	本多 広高	男	弁護士	19年	英語	東京大学大学院法学政治学研究科 法学修士（アメリカ法） International Academy of Family Lawyers IAFL fellow ハーグ条約（1980年）に加盟前から子の返還事件に関わり、加盟後には第1号事件にはじまり多数の同条約による子の返還事件に関わる。 MiKK (Mediation in International Family Matters) の基準による国際家族調停人としての資格を有する。
12	33566	早川 吉尚	男	弁護士／大学法学部教授	19年	英語	ハーグ国際私法会議元日本政府代表 立教大学教授（国際私法） 仲裁人協会理事
13	35502	三好 慶	男	弁護士	17年	英語	東京大学法学部卒業 日本法弁護士 ドイツMiKK、当会共催のファミリー メディエーション トレーニングに参加（2023, 2025年） 当会ハーグ条約関連制度検討協議会委員（2021年度-）
14	41035	橘高 真佐美	女	弁護士	15年	英語	米国ピッツバーグ大学ロースクール留学・卒業(LL.M.) 米国ニューヨーク州弁護士 国際家族法法曹学会（IAFL）フェロー ハーグ条約関連案件を含む国際的な家族に関する紛争の取り扱い経験多数

通番	登録 番号	氏名	性別	職業	実務歴	対応 外国語	経験・資格等
15	-	青木 聡	男	大学教授 臨床心理士／公認心理師	33年	英語	大正大学 臨床心理学部 臨床心理学科 教授 「監督付き面会交流支援者国際ネットワーク（SVN）」公認の面会交流支援者
16	-	大西 真美	女	大学臨床心理学教員 臨床心理士／家族心理士	19年	英語	東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース博士満期退学。 国内大学臨床心理学科にて専任講師。 心理士として、子どもとその家族への支援に携わり、現在はカップルや夫婦関係に関する相談、また海外の方の相談業務にも従事する。 2013年より離婚後の家族支援に携わっている。 国際家事ADRのトレーニング受講済。6年間アメリカでの生活経験あり。
17	-	大場 亜衣	女	ソーシャルワーカー 社会福祉士	23年	英語	社会福祉修士課程修了（MSW） ソーシャルワーカーとして、国際養子縁組、国際結婚・離婚に係る相談、面会交流支援、無国籍児の国籍取得支援事業などに従事する。
18	-	小田切 紀子	女	大学教授 臨床心理士／公認心理士	32年	英語	東京都立大学人文科学研究科博士課程修了、心理学博士。 国際家事ADR機関・MiKK登録メディエーター 2011年-2013年 アメリカ・オレゴン州・ウィラメット大学客員教授 2014年- ハーグ条約のADRあっせん人として実務に携わる。 国内事案の子ども監護に関するADRの実務経験あり。 家族療法を専門とし、親の離婚を経験する子どもの支援と研究をしている。また離婚後の親プログラムを実践している。
19	-	三船 陽子	女	ソーシャルワーカー	21年	英語	米国学留学、社会福祉専攻。ソーシャルワーカーとして、国際養子縁組、家族に係る相談事業などに従事するかたわら、家庭裁判所の調停委員を務めている。
20	-	田中 圭子	女	メディエーター 家庭裁判所調停委員	22年	英語	2013年- 一般社団法人メディエーターズ代表理事 2012年- 家庭裁判所調停委員 2022年- 愛知教育大学、大学院非常勤講師 英国 CEDR Accredited Mediator (Centre for Effective Dispute Resolution 認定メディエーター) 米国 ISTC Certificated Transformative mediator (Institute for the study of conflict transformation 認定 Transformative mediator)